

伊達赤十字病院と住民の皆様を繋ぐ情報誌

だてクロス

総合病院伊達赤十字病院広報誌



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

伊達赤十字病院

ご自由に
お持ち帰りください

＜特集＞P4・P5

平成28年熊本地震への

伊達赤十字病院の対応

- ・救護班の派遣
- ・こころのケア班の派遣
- ・熊本赤十字病院支援要員
(看護師) 派遣

＜ご挨拶＞病院広報誌の発行に寄せて ～ 院長 武智 茂

「住民の皆様と共に歩んで
いける病院に」

1

2016/08

創刊号

より開かれた病院を目指して

病院広報紙 発行に寄せて

伊達市民、また近隣の住民の皆様、伊達赤十字病院長の武智です。

このたび地域の皆様に対して、当院で現在どのような活動を行っているか、また今後どのような活動に取り組んでいくか、更に皆様方がいつも疑問に思われていることなどをテーマにして、専門的な立場から情報提供をすることを目的に、病院広報誌を発行することに致しました。日頃から地域の皆様にはあらゆるメディアを通じて当院のことを知っていただき、更に熱い御支援を戴いていることは大変感謝をする所ですが、今後は更に皆様に当院のことを詳しく知っていただきたいと考えて、この様な企画を致しました。内容についてはフレキシブルに考えておりますので、この広報誌をお読み戴いて疑問の点や、取り上げて欲しい内容等について御意見があれば、経営企画課の方に御連絡戴ければ幸いに存じます。またその様なことを通じて住民の皆様とともに歩んでいくことができる伊達赤十字病院になれます様に願っております。どうぞ今後とも宜しくお願い致します。

伊達赤十字病院長 武智 茂



第8代伊達赤十字病院長
(兼)循環器科部長

<資格等>

医学博士

日本内科学会認定医

日本循環器科学会専門医

日本臨床薬理学会指導医

日本医師会認定産業医

◆◆武智院長はこんな人◆◆

- ・奥様とご長男の3人家族
(ご長男は学業の為別居中)
- ・旭川医科大学卒
医局は北大循環器内科
- ・趣味は、読書、音楽鑑賞、ドライブ、写真、畑仕事、料理等

●伊達赤十字病院に来られた
きっかけは

「平成4年、伊達赤十字病院に循環器科を開設する目的で大学より派遣されました。今年で勤続24年目ですが、当初はこんなに長く居る事になるとは思っていませんでした。(笑)」

●得意としている治療は

「心不全、高血圧が研究テーマですが、この地域で診療するには、何でも一通り循環器分野の仕事をいたします。院長となっても毎週カテーテル検査や、ペースメーカー埋込手術等を行っています。」

●今後の伊達赤十字病院の
目標は

「当院は、この地域の基幹病院として本年度で76年目を迎えています。住民の皆様の支持をいただき、今日に至っております。私の望みは、当院が皆さんの日常生活の一部となって、安心を提供出来る病院になること、そして皆さんに愛される病院になることです。これからも頑張っていきたいと思っています。」

新乳房撮影装置(マンモグラフィ)を紹介します！

この度、乳房撮影装置が新しくなりましたのでご紹介いたします。2016年6月27日に、20年間使用してきました乳房撮影装置に替わり、伊達市からの補助を受けて新しい「デジタル式乳房用X線診断装置」が導入されました。

新装置はF P D (フラットパネルディテクタ)といわれる新しいデジタル画像システムを採用しています。今までよりも被ばくを少なく、より鮮明な画像を提供できます。また、新技術のトモシンセシスを搭載しており、通常のマンモグラフィ画像よりも診断精度の向上が期待されます。今はまだ準備段階ですが、整った次第実際の撮影に採り入れていく予定です。

また今回の装置更新に伴い、フィルムでの読影からモニター診断へと切り替わりました。そのため、フィルムの現像を待たずに撮影後すぐ画像を確認することが可能で、撮影時間も以前より大幅に短縮されました。

さらに、受診者様の緊張や不安を少しでも和らげリラックスして検査を受けて頂けるような仕様になっていますので、ぜひこの機会に新しい乳房撮影装置で乳がん検診を受けてみませんか？当院での乳房撮影は全て女性の放射線技師が担当しております。また、今年度から新たな取り組みとして「視触診なし」での乳がん検診も可能となりました。これは従来の検診コースの他に、問診とマンモグラフィ撮影のみで検診



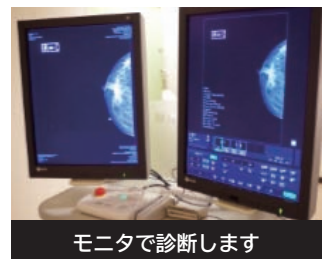
私たち女性スタッフが対応します

が受けられるコースとなっており、伊達市補助制度をご利用の方が対象となります。乳がん検診の受診率は全国的に見てもまだまだ低いのが現状です。大切な命を守るため、多くの方に乳がん検診を受けて頂ければ幸いです。

放射線科部 千葉真貴子



更新されたマンモグラフィ装置
FUJIFILM社
AMULET Innovality
FDR MS-3500



モニターで診断します

乳がん検診のご案内

乳房X線撮影装置(マンモグラフィ)の機械更新に伴い、乳がん検診実施日も更新いたしました。

◆国が推奨している乳がん検診は？

検診方法 = 乳房X線検査(マンモグラフィ)

対象者 = 40歳以上の女性

受診間隔 = 2年に1回

◆予約方法は？

希望日を伺い、ご案内します。

◆検診料金は？

ご加入の健康保険や、お住いの市町において、自己負担金無料又は軽減の補助制度もあります。

◆撮影と診察コース【問診、マンモグラフィ撮影、視触診】

医師が乳房のしこりの有無も確かめます。

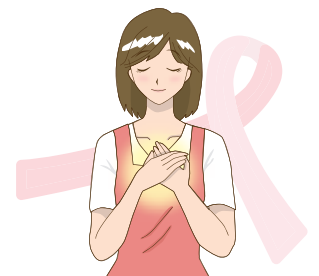
予約時間	月	火	水	木	金
午前8:30～ 9:30～	○	○	○	○	○
午後1:30～	○	○	○	○	

◆撮影コース【問診、マンモグラフィ撮影】

撮影後帰宅できます。

※伊達市・洞爺湖町・豊浦町・壮瞥町の補助制度をご利用の方は、こちらも選択できます。

予約時間	月	火	水	木	金
午前10:00～	○	○	○	○	○
午後1:30～	○	○	○	○	



【お問合せ・ご予約は】

伊達赤十字病院 健診センター

電話 0142-23-2211 (内線221)

FAX 0142-25-5522

平成28年熊本地震

伊達赤十字病院の活動

平成28年4月14日より、熊本県を中心に発生した最大震度7の地震災害は、死者66名、建物等の損壊多数の大災害となりました。

日本赤十字社では地震直後より、全社を挙げた救護活動及び被災者支援に取り組みました。これに合わせ、伊達赤十字病院は、4月25日北海道支部からの救護班第1班として、7名の職員を現地へ派遣いたしました。続いて熊本赤十字病院支援として看護師2名の派遣、6月3日からはこころのケア班の派遣と、計13名の職員を現地派遣いたしました。



東日本大震災から5年 再び起きた大災害に

こころのケア班

被災者、行政スタッフのメンタルケア活動

日本赤十字社の災害救護活動は、医療救護を中心に実施されてきました。しかし、災害は人々の生命や生活に大きな被害をもたらすだけでなく、同時に「心」にも「大きな傷」を残します。その「傷」を受けるのは、被災者ばかりではなく、支援しようとする者も同様です。日赤の災害時のこころのケア活動は、すべての被災者とすべての支援者に対して、災害によって受けるストレスのケアを提供しようとするものです。

今年4月に起こった熊本地震災害では、日本全国から多くの支援者が被災地にかけつけ、全国的な支援活動が展開されました。私たち日赤も、日赤熊本県支部に災害対策本部を立ち上げ、他団体と協働して組織的に医療救護やこころのケア活動を展開し、被災地支援の一端を担いま

した。道内の日赤機関からもこころのケア活動のためにスタッフが派遣されましたが、当院からは私たち4名のスタッフが浦河赤十字看護専門学校のスタッフ1名とともにチームを形成して派遣され、熊本県西原村において被災者や支援者である自治体職員に対してストレスケアを実施してきました。

そもそも、日本赤十字社のこころのケア活動が組織的に展開されることになったのは、平成12年3月の有珠山噴火災害のときからです。その後も、試行錯誤を繰り返しつつ、こころのケアの方法や他団体と協働した支援体制の整備が続いています。近年、必ず起こると言われている有珠山噴火災害にも備え、少しでも地域のみなさまのお役に立てるよう準備していきたいと考えています。



田中雄大（たなか たけひろ）
臨床心理士 心理判定員
日本赤十字社心のケア指導者
平成28年熊本地震 伊達赤十字病院こころのケア班班長

『伊達赤十字病院
こころのケア班』

【班長】	田中雄大
【看護師長】	中島美千子
【看護師】	野口文子
外来看護師	加藤美和
病棟看護師	福島和義
【主事】	
経営企画課	

救護班

北海道支部派遣第1班として活動

消化器科医師の嘉成悠介です。熊本地震が起こってから2週間近く経過した4/26(火)～29(金)の4日間被災地において実働して参りました。

私たちはは最大震度7を認めた益城町を含む、上益城圏域での医療救護活動を担当しました。

主な活動内容は、避難所往診の予定でしたが、救護活動されていない地域の情報収集、非指定避難所のアセスメントという指令も受けたことから、担当地区を救援車や徒歩にて歩き、被災した地区をつぶさに見て回りました。

避難所生活がストレスとなり、止む無く損壊している住宅に戻っている人、ビニールハウスで生活する農家の人が多数おられました。また、報道等でご存知のように、車中泊をされている被災者が多数おられたため、深部静脈血

栓症(DVT)予防に弾性ストッキングを配布したりいたしました。

避難所では、疲労・ストレスなどから来る感冒症状の方が多く、感冒薬処方などを行いました。

29日活動終了後、後任の仙台赤十字病院救護班に業務を引き継ぎ、全日程を終了、翌30日無事伊達赤十字病院へ帰着いたしました。

振り返ってみると、移動にかなり時間を要し、実働時間があまり長くなかったことや、日赤以外の多種チームとの連携がスムーズにいかないケースがしばしばあり、災害時の救護活動にはまだまだ改善の余地がありそうな印象を受けましたが、今回の被災地での医療救護活動は、私たちにとって貴重な経験となりました。



嘉成悠介 (かなり ゆうすけ)

消化器科医師

平成28年熊本地震伊達赤十字病院救護班班長

『伊達赤十字病院救護班』	
【班長】	消化器科医師 嘉成悠介
【看護師長】	外科師長 木原広栄
【看護師(こころのケア)】	専任教師 佐藤雅子
【看護師】	病棟看護師 土谷真菜
【主事】	総務課 永澤貴博
【医事課】	宮川真宜
【地域保健課】	松橋佳希

対して伊達赤十字病院は如何に対応したのか

病院支援

熊本赤十字病院応援要員として



前田曜子 (まえだ ようこ)

看護師、北海道DMAT隊員
平成28年熊本地震本社支援要員として熊本赤十字病院派遣

4/29～5/5、熊本赤十字病院救命救急センターで活動させていただきました。地震発生より2週間が経過し、主要病院の1つが閉鎖となった為、通常時の約1.5倍の患者さんが熊本赤十字病院に受診に来ていました。急性期疾患よりも、慢性期的な「肺炎」「深部静脈血栓症疑い」の対応となりました。

全国の日赤より派遣された45名の仲間と7日間を共にし、会議室に寝袋で寝て、

アルファ米とレトルト食品や缶詰で食事、病院のお風呂に通い、各病院の情報交換等を毎晩のように行っていました。「少しでも熊本日赤の役に立ちたい」という“同志”として色々勉強させてもらい、自分のスキルアップにも繋がりました。

今後、伊達市周辺では有珠山の噴火が予想されます。今回学んだことを生かせるようにしたいと思います。

熊本地震災害に伴う熊本赤十字病院支援の為5/11～24の期間、現地で活動して参りました。

病院スタッフの多くも、自らも被災していながら一生懸命仕事をしている姿が、印象的で感動しました。

現地の状況は、自分の目で見て初め

て分かる事が多く、被災された方の話を聞く度に、今回の地震の影響が大きかった事を感じました。

自分の病院支援は短期間でしたが、熊本地震復興にはまだ多くの時間を要すると思うので、今後も自分ができる支援を継続していきたいと思います。



加藤靖広 (かとう やすひろ)

看護師
平成28年熊本地震本社支援要員として熊本赤十字病院派遣

外 来 受 診 案 内

- ◆初診・・・保険証をお持ちになり、医事課前記載台にて診療申込書にご記入の上、3番窓口にお越しください。
紹介状をお持ちの方は、一緒に窓口にご提出ください。
- ◆再診・・・正面玄関前の再来受付機に診察券を入れ受付してください。保険証確認が必要な方、診察券に不具合のある方は医事課窓口にての受付となります。
- ◆休診日・・・土・日・祝祭日・年末年始・赤十字創立記念日（5月1日）
- ◆右記一覧に診療日と記載されている医師でも、都合により休診・代診となることがございます。
- ◆※印のついている医師については、月毎に診療日が異なります。
- ◆この一覧は医師の都合、診療体制の変更により急遽変わることがございます。
- ◆受付時間 午前 8:25～11:00 午後 12:45～15:00
曜日、診療科により受付時間は異なります。
- ◆診療開始時間 医師・曜日より異なります。

来院前に電話による確認をお願いいたします。

お問合せ先：医事課外来窓口
☎0142-23-2211(内線214)



私たちがサポートします

がん看護専門看護師 鶴見 紘子
当院のがん患者様に関わる中で、がんの手術後に生じるリンパ浮腫で悩まれ、適切なケアを必要としている患者様が多くのいることを以前より感じていました。
リンパ浮腫を悪化させないためには、早期発見や発症後の早期介入、患者様のケアに対する意欲がとても重要です。患者様がリンパ浮腫と付き合いながら、これまでの生活を維持できるように手厚いサポートをしたいと考え、この度リンパ浮腫ケア外来の開設に至りました。
リンパ浮腫ケア外来を受診する為には、外科外来でリンパ浮腫である診断が必要になります。リンパ浮腫ケア外来では、毎週水曜日の13時30分から16時に、5名の専門の看護師が交代で対応します。私費診療となりますが、患者様が継続してリンパ浮腫の治療が可能な金額設定としております。
リンパ浮腫で悩まれている患者様と一緒に、患者様の希望や価値を大切にしながらサポートしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新設 リンパ浮腫ケア外来

患者様の権利と責務

- 1 **良質な医療を受ける権利**
患者様は、安全且つ適切で良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 2 **説明や情報を得る権利**
患者様は、病状や治療法等について十分な説明とご自身の診療録開示を含めた情報等を得る権利があります。
- 3 **選択の自由と自己決定の権利**
患者様は、治療法を自らの意思で選択・決定したり、他の病院の意見を求める権利があります。
- 4 **個人情報の秘密保持の権利**
患者様は診療の過程で得られた自己の個人情報の秘密が守られ、患者様の承諾なしには開示されない権利があります。
- 5 **尊厳を得る権利**
患者様は、個人としての人格、価値観などを尊重され、医療従事者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
- 6 **患者様の責務**
 - I 医療従事者に対し、自分の健康に関する情報を提供する責務があります。
 - II 他の患者様の診療に支障を与えない様配慮する責務があります。
 - III 医療従事者の指示を守り、治療効果を上げる努力をする責務があります。

診療科からお知らせ

From 小児科

『食物経口負荷試験実施しております』

お子さんの食物起因のアレルギーについて検査する、食物経口負荷試験について、当院で受けることが可能です。
検査は一泊入院となりますが、保険適用ですので、市町村による子ども医療費助成の対象となります。

【お問合せ先】

TEL 0142-23-2211（代表：交換に「小児科外来へ」とお伝えください）

From 産婦人科

『分娩制限してありません』

現在当院の産婦人科では、分娩に関する人数等の制限は設けておりません。
里帰り出産などにも対応いたしますので、お産に関するご相談がありましたら、伊達赤十字病院産婦人科までお気軽にご相談ください。

【お問合せ先】

TEL 0142-23-2211（代表：交換に「産婦人科外来へ」とお伝えください）

外来診療一覧

		月	火	水	木	金
内科・総合内科	午前	宮崎・出張医	小柴・出張医	宮崎・出張医	小柴・出張医	宮崎・出張医※
	午後	<休診>	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
消化器科	午前	櫻井・嘉成	久居・山内	櫻井	久居・嘉成	久居・山内
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
栄養サポート外来	午後	地域医療連携予約のみ				
緩和ケア外来<完全予約制>	午後	岡本※	<休診>	<休診>	<休診>	<休診>
神経内科	午前	<検査>	松岡	井上	松岡	検査・安喰※
	午後	松岡 13:00~15:00	山田（新患のみ） 13:00~15:00	<休診>	<検査>	松岡 13:00~15:00
もの忘れ・頭痛外来<完全予約制>	午後	松岡	松岡	<休診>	松岡	松岡
循環器科<完全予約制>	午前	武智（予約のみ） 出張医	出張医	福田	福田	出張医
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
外科	午前	川崎・武内	佐藤・行部	川崎（予約のみ）	行部（予約のみ）	佐藤・武内
	午後	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>
ストーマ外来<完全予約制>	午後	<休診>	<休診>	<休診>	<休診>	行部※ 14:00~16:00
リンパ浮腫ケア外来<完全予約制> 私費診療	午後	<休診>	<休診>	認定看護師・看護師 13:30~16:00	<休診>	<休診>
整形外科<完全予約制>	午前	相澤※・富田	玉田	長汐・玉田	玉田・富田	小澤
	午後	<検査・手術>	<検査・手術>	<検査・手術>	<検査・手術>	<検査・手術>
人工関節センター<完全予約制>	午前	清水	<休診>	<休診>	清水	清水
小児科	午前	林	林	林 受付10:30まで	林	林
	午後	林 乳児検診 13:30~15:00 一般 15:00~16:00	林 予防接種のみ 13:30~15:30	<手術>	林 非感染症外来 完全予約	林 13:30~15:30
産婦人科	午前	田熊・岡田	岡田・日野	田熊・岡田	岩本・日野	岡田・田熊 交替診療
	午後	<休診>	<休診>	<休診>	<休診>	<休診>
精神神経科 <初診に限り完全予約制>	午前	高平	主張医 9:00~	早川	早川・高平	高平
	午後	（予約のみ） 高平	<休診>	（予約のみ） 早川	予約のみ （早川・高平）	<休診>
もの忘れ外来<完全予約制> 13:30~15:00	午後	<休診>	早川・高平 交替診療	<休診>	<休診>	<休診>
麻酔科	午前	立川 9:00~10:30	立川 9:00~10:30	<休診>	立川 9:00~10:30	立川 9:00~10:30
	午後	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>
放射線科	午前	地域医療連携予約のみ				
皮膚科	午前	<休診>	出張医 受付10:30まで	<休診>	出張医 10:00~11:30	出張医 10:00~11:30
耳鼻咽喉科	午前	長内	長内	長内	長内	長内
	午後	<検査・手術>	<休診>	長内 13:30~15:30	<検査・手術>	長内 13:30~15:30
甲状腺専門外来<完全予約制>	午後	<休診>	<休診>	長内 13:30~15:30	<休診>	<休診>
眼科	午前	前田 受付10:00まで	前田	前田	前田・出張医	前田・出張医
	午後	<手術>	<検査>	<休診>	<手術>	予約外来 <検査>



空襲犠牲者慰霊祭 7月14日(木)

伊達赤十字病院救急外来横の道を進んだところに慰霊碑があるのをご存知でしょうか。

これは昭和20年7月14日の伊達空襲の際犠牲となった当院の患者2名、看護師1名、看護学生1名を慰霊するため

平成7年に建立されたもので、以後毎年空襲のあった7月14日にご遺族、病院・学校関係者が集まり慰霊祭を行っております。

今年も関係者約50人が集まり、犠牲となった方々に対し献花を行いました。



第23回市民健康講座 7月16日(土)

毎年2回(1月・7月)開催しております市民健康講座も12年目、23回を数えるまでになりました。

今回は第一部 岡田第二産婦人科部長による「生理痛を知ろう」、第二部 小柴第一内科副部長による「感染症の早期発見と対策」というテーマでの講演でし

た。第一部と第二部の合間には、7月より新規開設されたリンパ浮腫ケア外来担当の認定看護師 星さんによる「リンパ浮腫をご存知ですか」というミニ講演も行われました。

次回は1月に開催いたしますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

社会課掲示板

社会課は、病院にあって特に赤十字の事業に関連するお仕事や地域との窓口になる部署です。講習事業や義援金などの主管部署として、皆様に情報発信してまいります。

健康生活支援講習

～院内ミニ講座のご案内～

『伊達赤十字病院では、家庭での介護方法についての講習会を実施しています。毎日の生活の中で、少しでもご自分でできることを増やしていくための工夫を一緒に学びませんか。』

現在介護されている方はもちろん、将来に備えて、興味がある等どなたでも受講可能ですので、多くの方のご参加をお待ちしております。』

伊達赤十字病院 健康生活支援講習指導員

講習会場：伊達赤十字病院放射線科外来
(正面玄関入ってすぐ右手のお部屋です)

時間：AM11:00～11:30

※受講料等は一切かかりません。

※事前予約が無くてもご参加いただけます。

※動きやすい服装で来ることをお勧めします。

平成28年度講座開催予定(毎月第4木曜日)

◆体の自然な動きって?～これを知って楽に介助しよう

8月25日：寝返り(自然な動き～一部介助の方法)

9月15日：起き上がり(自然な動き～一部介助の方法)

10月27日：立ち上がり(椅子から・床から)

◆知っておこう!安全な車いすの介助方法

11月24日：車いす(移乗一部介助・基本動作・留意点)

◆知っておこう!安全で楽しく食事をとるために

12月22日：食事の介助(姿勢・自助具の紹介・留意点)

◆手洗いでインフルエンザを予防しよう!!

1月26日：感染予防(手洗い・手指消毒・咳エチケット)

◆災害時に活躍する毛布と風呂敷

2月23日：毛布ガウン・紙箱

風呂敷のリュック

お問合せ：伊達赤十字病院社会課

電話番号：0142-23-2211(内線479)

担当者：犬井



伊達赤十字病院理念

伊達赤十字病院は赤十字のこころを基に、地域の皆様に信頼される医療を目指します。

基本方針

- 1 患者様の人格、人権を尊重した、患者様の立場に立った医療を目指します。
- 2 医療人として常に自己研鑽し、より高度な医療サービスの提供をいたします。
- 3 病院における医療事故の防止及び医療の安全性の更なる向上を図ります。
- 4 胆振西部地域の中核病院として、医療、保健、福祉との連携を図り、住民の健康と生活を守ります。